

「情熱」さえあれば、誰でもできる！！！！



同時期に二つの会社を立ち上げる女性。

自分の“やりたい”を実現させた方法とは！？



社会起業家

たかなしみ か
高梨美佳さん



“持続可能な社会を作る”

Q 高梨さんが立ち上げている二つの会社では、それぞれどのような仕事をされていますか？

持続可能な社会を作るための社会課題解決事業をしています。最初に立ち上げた方の会社ではSDGsの普及啓発^{ふきゅうけいはつ}をするためのエデュテインメントサービスを、もう一つの会社では持続的農業支援サービスを提供しています。

エデュテインメントサービス

エデュテインメントとはエンターテインメント×エデュテインメント（教育）を意味します。

持続的農業支援サービス

台風などの被災農家と支援する人々の『つながり』を深め、台風被害から立ち上がる農家を救います。捨ててしまわれる野菜の価値を高めるフードロス削減サービスや加工品づくりで農家に資金が循環する流通網^{りゅうつうもう}を増やしています。



“小さな可能性を信じられる人”

Q その仕事はどんな人に向いていますか？

小さな可能性を信じられる人です。今どんな環境であれ、自分の力や小さな可能性を信じて、創りたい世界や見て見たい景色を創れる人、そこにフォーカス出来る人が向いていると思います。今立ち上げている事業はどちらも、自分たちの創りたい世界や心地よい場所創りを言語化して、共通ビジョンの元、ワクワク感にフォーカスして、その世界や場を創るための小さな可能性を見つけでは信じて挑戦しています。そこにフォーカスしていないとお金の問題や大変さばかりを考えてしまい、始める前に諦めてしまうように思うからです。そういう意味で、小さな可能性を信じられる人が向いています。また失敗を^{こやし}肥しにして変化に適応する力を持てる人も向いています。

“距離を置いて全体を捉える力が今に繋がっている”

Q 起業する上で大切な事がありますか？

話が学生の頃に遡りますが、中学生のときソフトテニス部の部長をやっていました。当時から、チームや組織の在り方に対して「もっとこんな風にしたらいいのに」「こんな形で^{てきざいてきしょ}適材適所でやったらいいのにな」というような^{ふかん}俯瞰をしていて、不思議なことに、他の人には見えない自分特有の景色が見えていたのです。このように、距離を置いて全体を捉える力が今の仕事を行っていく上で大切だと感じています。



“人の出会いで人生は変わる”

中学後半から大学まで続けていたヒップホップダンスや音楽を通して、多様な人に出会うことができ、そのおかげで**自分の生きる場所**を創れたのだと思います。というのは、人との^{つな}繋がりが多いと、何かあった時に助けてくれる人がいて、悩みや不安なことがある時に相談にのってくれる人がいる。それが**自分の生きる場所になる**からです。今だからこそ言えることは「**人の出会いで人生は変わる**」ということです。わたしが今いる場所は、特に小さな会社を繋いで協力していくことが大切なので、**人脈づくり**は必要であると考えています。



“自然の景色に^{いわかん}違和感”

Q 今の仕事を始めたきっかけを
教えてください

二つあって、一つがサーフィンです。日本中の海にサーフィンをしに行くのですが、年々浜がなくなっていく景色や、ごみが多い景色、その沿岸^{えんがんちいき}地域がどんどん過疎化^{かそか}して文化がなくなっていく姿を見て、**環境問題**をどうにかできないかと考え始めたことからです。

“社会に違和感”

私自身、誰のために、何のために働いているのだろうと考える機会も多くなり、社会で働いていくなかで何か“物足りなさ”を感じていたのです。また、お金・地位・^{めいよ}名誉で人を決めつけるような世界にも違和感があり、**多様性を受け入れられる心地よい居場所を創りたい**と思い、起業することへの決意に繋がります。

“SDGs”

Q 自分で心地よい居場所を作るために、今どんなことに取り組んでいますか？



例えば持続的農業支援を行っている会社では、農家から**フードロスをなくす**取り組みに注力しています。**SDGs**という言葉聞いたことはありますか？
2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標のことで、17の目標から成り立っています。フードロスをなくし、持続的農業支援を行う活動は、2番目の目標“**き が 飢餓をゼロ**”の中に組み込まれています。またSDGsは一つのポイントを起点に全てが繋がっています。“**持続可能な方法で生産し、責任をもって消費する**”12番目の目標も関連性が高いのです。私たちは、台風被害で流通できなくなった農作物を**はいき**廃棄せず、加工食品として販売していて、その売り上げを農家さんに**かんげん**還元しています。この活動は、**SDGsの課題解決になると考えていて、誰もが一緒に活動できる**機会を増やしていきたいと考えています。



“パートナーシップ”



Q 起業する上で大変だったこと、また必要なスキルや資格はありますか？

大変だったことは、一人で起業してしまったことです。一人でできることって限られているので、最初は思うようにできず、苦労しました。その時、会社を会社として成り立たせるためには、**パートナーシップ**が必要だと実感しました。そして人が集まるためには、信頼を創造し、そこにお金がきちんと伴うサービスを創ることが大切だと思います。

“情熱”

必要なスキルや資格は、、ありません！！**情熱**さえあれば誰にでも出来ます。“世の中にないかからやる”それには正解も不正解もないので、そのなかで自分の可能性を信じて「**いかに楽しく出来るかどうか！**」です！！



“チャレンジする”

Q 中学生・高校生になにかアドバイスがあれば、お願いします！

「自分がやりたい」と思ったことは、全てやってほしい。誰に何を言われても、自分を貫く。あとは、すぐ成功できるようなことは奇跡に近い！と思っているので、たくさん失敗して、そこから学んでほしいです。

自分がやりたいと思ったら、
チャレンジしよう！



～取材・編集を終えて～

働くプロ取材することで、今後自分が社会で働く上で非常に役立つ、価値ある情報を得られたと思いました。たくさんの資格を持っていることや、高度な技術を身につけるよりも、仕事に対する情熱だったり、強い思いが大切なのだと感じました。また私自身、周りを気にして遠慮しがちなもので、堂々と色んなことにチャレンジしたいです！！高梨さん、貴重なお時間を頂き、本当にありがとうございました。

目白大学 外国語学部英米語学科 2年

松原なるみ

